

西東京市第2期文化芸術振興計画「施策・事業評価」調査表に関する推進委員会からの総合評価コメント検討シート

課題	調査表該当項目	推進委員会評価コメント案	総合評価コメント案
① 市民に身近な鑑賞機会のあり方	(a) 文化芸術に親しむきっかけづくり	基本方針1「参加のきっかけづくり」 施策2「気軽に文化芸術に親しむことができる機会づくり」	・各所管課が工夫をして講座や鑑賞会等を実施しながら、市民が気軽に文化芸術に親しむことができる機会づくりに取り組んでいることは評価できる。今後も引き続き、関係各課等との連携を図りながら、市民が文化芸術に親しむことができる機会づくりを一層図られたい。
	(b) 子どもの頃から文化芸術に親しめる機会の提供	基本方針1「参加のきっかけづくり」 施策3「子どもが文化芸術に出会うきっかけづくり」	・各所管課が工夫をしながら子ども向けの講座やワークショップ等を通じて、子どもが文化芸術に出会うきっかけづくりに取り組んでいることは評価できる。今後も引き続き、子どもが文化芸術活動へ参加する機会づくりの充実を図られたい。
	(c) 地域の文化資源・人的資源を生かした地域文化の魅力づくり	基本方針4「伝統文化等の継承」 施策1「文化財の保存・継承と活用」 施策2「地域の特色となる文化芸術の形成」	・【4-1-3】スマートフォン用まち歩き・防災アプリ「いこいな西東京ナビ」の普及は評価できる。まち歩きのためのアプリであれば、市民がまちなかで使用することを想定して、フリーWi-Fiの整備についてもあわせて検討されたい。 ・【4-1-3】「西東京市デジタルアーカイブ」について、図書館に行かなくても、貴重な資料がインターネット上で閲覧することができる仕組みがあることは評価できる。今後も引き続き、さらなるデジタル化の活用について、検討されたい。 ・【4-2-1】伝統文化等継承事業補助金について、補助金を活用している団体が、後継者に受け継ぐ機会が少ないことから、機会の創出への支援等を検討されたい。
	(d) 文化芸術活動を支える拠点の保全と更新に向けた検討	基本方針2「市民が活動しやすい環境づくり」 施策2「市民の文化芸術活動を支える環境づくり（文化施設のあり方）」	・活動者が意見交換できる場の提供や文化芸術活動ができる施設の利用拡大の検討など、各所管課が計画的に文化芸術を支える環境づくりを進めていることは評価できる。今後も引き続き、市民のニーズや地域の実情に合わせた文化施設のあり方について検討されたい。

西東京市第2期文化芸術振興計画「施策・事業評価」調査表に関する推進委員会からの総合評価コメント検討シート

課題	調査表該当項目	推進委員会評価コメント案	総合評価コメント案
	(a) 活動団体の支援	基本方針3「文化芸術を担う人づくり」 施策1「自立的な文化芸術活動の推進」	・【3-1-5】事業終了後に、専門的な知識を持ったスタッフなどから市民ボランティアに対し、その日のうちに専門的なアドバイスを受けられるような仕組みづくりを検討されたい。
	(b) 文化芸術活動を応援し、支える気運の醸成	基本方針3「文化芸術を担う人づくり」 施策3「文化芸術を支える人材の育成と活用」	・多様な文化ボランティアの育成や活躍の場があることは評価できる。将来の文化ボランティアの育成に向け、保谷こもれびホールで若い人が興味を示すような講座について、要望を聞きながら検討されたい。
② 文化芸術活動の担い手を広げる取組の推進	(c) 活動団体の連携による地域への展開	基本方針3「文化芸術を担う人づくり」 施策4「多様な文化芸術の担い手を広げる取組の推進」	・各所管課が関係各所と連携をしながらイベント等の事業を実施することで、多様な文化芸術の担い手を広げる取組を推進していることは評価できる。今後も引き続き、関係各所と連携して、相乗効果が期待できる事業等を実施することで、多様な文化芸術の担い手を広げる取組の推進を図られたい。
		基本方針5「交流による活動の拡大・活性化」 施策3「多様な担い手の連携によるまちづくりへの促進」	・【5-3-1】文化芸術活動を行う団体同士が連携する仕組みづくりの充実に向けた取り組みについて、一層検討されたい。 ・【5-3-3】市内3大学との連携が図られていることは評価できる。今後も引き続き、市内3大学との連携を図られたい。
	(d) 市民と地域の文化芸術活動を結びつける効果的な情報発信	基本方針1「参加のきっかけづくり」 施策4「市民に届く効果的な文化情報の提供」	・市民に文化芸術に関する情報を効果的に発信するためには、市が行う各種発行物のほか、市民の中でも特に若者の発信力が効果的であると思われる。若者がSNS等を活用して情報発信したくなるような事業の企画や発信方法の工夫について検討されたい。 ・【1-4-1】文化芸術関連の情報発信の手段の1つとして、電子モニターの活用について、一層取り組まれたい。 ・【1-4-1】より効果的な情報発信ができるよう、これまでの事業の参加者がどこで情報を得たのかについて検証し、今後の事業展開に活かされたい。 ・【1-4-1】市報や保谷こもれびホールの広報紙だけでなく、アプリ等で定期的に情報が届くようなもの、または会員制のニュースがまとめて配信され通知が来るようなシステムの導入を検討されたい。 ・【1-4-2】西東京市はベッドタウンであることから、駅は若者向けの広報に最適な場であると思われる。駅の改札を出た先の目につくところに事業に関するポスター等を張り出すなど、駅を活用した情報発信の仕組み作りを検討されたい。

西東京市第2期文化芸術振興計画「施策・事業評価」調査表に関する推進委員会からの総合評価コメント検討シート

課題	調査表該当項目	推進委員会評価コメント案	総合評価コメント案
③ 文化芸術を通じたまちづくりへの展開	(a) 文化芸術を通じた市民、地域への効果の共有	基本方針4「伝統文化等の継承」 施策2「地域の特色となる文化芸術の形成」	<ul style="list-style-type: none"> ・【4-2-1】伝統文化等継承事業補助金について、補助金を活用している団体が、後継者に受け継ぐ機会が少ないことから、機会の創出への支援等を検討されたい。
	(b) 文化芸術の効果を意識した取組の拡大	基本方針5「交流による活動の拡大・活性化」 施策3「多様な担い手の連携によるまちづくりへの促進」	<ul style="list-style-type: none"> ・【5-3-1】文化芸術活動を行う団体同士が連携する仕組みづくりの充実に向けた取り組みについて、一層検討されたい。 ・【5-3-3】市内3大学との連携が図られていることは評価できる。今後も引き続き、市内3大学との連携を図られたい。
	(c) 健康や福祉など、他分野と結びつけた取り組みの推進	基本方針5「交流による活動の拡大・活性化」 施策2「他分野と結びつけた文化芸術活動・交流の促進」	<ul style="list-style-type: none"> ・【5-2-1】保谷こもれびホールで実施したラグビーワールドカップのパブリックビューイングについては、まちの活気を高め、地域全体で応援することに繋がったとともに、文化とスポーツという他分野との連携は、相乗効果があったと評価できる。今後も、まちを活性化するような取組みを実施されたい。 ・【5-2-1】「しーた」や「のーや」、下野谷遺跡遺跡をイメージしたクッキーやマドレーヌ等がまちテナ西東京にも置かれている等、各関連分野が連携されており評価できる。 ・【5-2-1】「保谷のアイ」については、保谷とアイの結びつきを市民へ広め、このまちの成り立ち（歴史）を理解するきっかけともなることから、今後も事業の発展に取り組まれたい。
	(d) 共生社会の実現に向けた取組の推進	基本方針5「交流による活動の拡大・活性化」 施策1「障害者や外国人など多様性への理解と交流の促進」	<ul style="list-style-type: none"> ・各所管課が多様な市民が参加できる様々な取り組みを行ったことは評価できる。今後も引き続き、障害者や外国人等、多様性への理解を広め、市内での交流の促進に努められたい。